



### 鳥取県高等学校総合体育大会バドミントン競技の部

男子団体	ベスト8		
男子ダブルス	野際 叶太(3-2)・山根 稜平(2-6)組	ベスト16	
	西川 創太(2-3)・徳中 漣(2-2)組	2回戦進出	
	平尾 大翔(3-1)・山邊 惺也(3-7)組	2回戦進出	
男子シングルス	野際 叶太(3-2)	2回戦進出	
	西川 創太(2-3)	1回戦敗退	
女子団体	ベスト8		
女子ダブルス	門脇 想(3-1)・福田 千晴(3-3)組	ベスト16	
	岩田 咲希(3-2)・大久保璃香(3-3)組	1回戦敗退	
	吉田 小夏(3-2)・池本 さえ(2-5)組	2回戦進出	
	岸下 瀬奈(2-2)・杉本 琴奏(2-1)組	2回戦進出	
	宮本 花夏(1-6)・山下 詩帆(1-2)組	2回戦進出	
女子シングルス	門脇 想(3-1)	2回戦進出	
	池本 さえ(2-5)	2回戦進出	
	宮本 花夏(1-6)	ベスト8	

### バドミントン部

### Message バドミントン部女子の皆さんへ

部活は、高校から新たに始めた人もいれば、小さなころから同じ種目が続けられている人もいるでしょう。いずれにしても、3年生にとっては夏の総体が部活の総仕上げ、最後の大会になります。この総体に向けて苦しい練習を重ねてこれたと思います。皆さんのそれぞれの目標に向かって、悔いを残さないように頑張ってください。(保護者)

### Message バドミントン部男子の皆さんへ

コロナ禍で始まった高校生活は、部活動も思うようにできないことが多かったですが、限られた時間の中での練習、先生方や仲間を支えられてやり遂げた経験はこの先大きな力になることと思います。大切な仲間に出会い最後の大会にみんなで見守られて本当に良かったです。3年間ありがとうございました。(保護者 野際智恵)



### 鳥取県高等学校総合体育大会柔道競技

男子団体	3位		
男子個人	60kg級 三好 優智(2-2)	1回戦敗退	
	66kg級 澤田 睦月(2-3)	準優勝	
	73kg級 松岡 大智(2-1)	3位	
	73kg級 上田 晃生(2-6)	1回戦敗退	
	81kg級 児玉 颯来(3-3)	3位	
	90kg級 西原 旺祐(3-1)	準優勝	
女子団体	3位		
女子個人	70kg級 中川 香乃(2-2)	3位	
	78kg級 中野 咲羅(1-4)	準優勝	

### 柔道部

### Message 柔道部の皆さんへ

想像もしていなかった、コロナ禍の高校生活。学校生活自体が今まで普通だった事とは異なる形で進行していき、思い描いていたものとは違っていたでしょう。部活動も度々制限され、以前なら県外遠征や、合宿などがあったのですが、それもほぼ無し。そんな中でも地道に努力を重ねていたようで、体重も20キロ増量し筋力もついて、あんなに頼りなかった子が、今はチームの柱となりました。やればできる! 全国まであと一歩のところですが、悔いのないよう頑張ってください! その姿は後輩がちゃんと観てるから。(保護者 西原 裕)



### 鳥取県高等学校総合体育大会ビームライフル競技

### のビームライフル部

AR・BR・BP団体	準優勝		
	中原 聡(3-2)・山本 凌大(2-6)・瀬戸 美有(3-4)		
BR40J団体	優勝 全国大会出場		
	中原 聡(3-2)・山下 洸貴(3-1)・山本 凌大(2-6)		
BR40J団体	準優勝		
	濱田俊太郎(3-1)・小谷 隆真(3-6)・高垣 太空(2-6)		
BR40WJ団体	優勝 全国大会出場		
	岡村 梨央(2-4)・霜里 風花(2-6)・前田 清花(2-7)		
AR40J	中原 聡(3-2) 第4位	全国大会出場	
BR40J	中原 聡(3-2) 第3位		
	山本 凌大(2-6) 第4位	全国大会出場	
	山下 洸貴(3-1) 第5位	全国大会出場	
BR40WJ	前田 清花(2-7) 第5位	全国大会出場	
BP40J	濱田俊太郎(3-1) 第3位		
BP40WJ	瀬戸 美有(3-4) 優勝		
	岡村 梨央(2-4) 第2位		
	前田 清花(2-7) 第3位		
BP60J	山口 慧(2-5) 優勝		

### 中国高校ライフル射撃競技選手権大会

- BP60WJ 前田 清花(2-7) 第5位

### Message ビームライフル部の皆さんへ

ビームライフル部の普段の部活動をテレビの取材で見ることができました。また試合会場での様子から部員同士とても仲が良いことが伝わってきて、見ていて嬉しくなりました。全国大会出場を果たし、部員数も増え、これからますます強い部になっていくのだと思います。3年生の皆さん、この先それぞれの道で活躍されることを願っています。これからもずっと応援しています。(保護者 濱田洋美)







### Message サッカー部男子の皆さんへ

令和4年5月30日が3年生最後の大会となりました。前半早々1点取られましたが、スーパーゴールで追いつき、後半の給水タイムまで同点。声を掛け合って、あきらめず守り抜こうとし、最後まで攻め続ける姿は心を打つものがありました。素晴らしい仲間と先生に恵まれ、辛苦を共にした3年間はかけがえのないものになりました。本当にありがとうございました。(保護者 澤 徳子)

サッカー部

### Message サッカー部女子の皆さんへ

無情にも鳴り響く試合終了のホイッスル。悔しさを滲ませながらも、応援席へ最後の挨拶にやってきた娘の凛とした姿に成長を感じた。ただ、サッカーが出来ていたことを当たり前と思わず、携わってくださった方々への感謝を忘れないで欲しい。下を向くなんてことはしないでいい。そう、あれは次の夢への新たなステージの始まりのホイッスルだったのだから。(保護者)



鳥取県高等学校総合体育大会サッカー競技

男子 ベスト8



女子 1回戦敗退



### 令和4年度鳥取県高等学校総合体育大会競泳競技の部

男子団体総合成績	3位
男子400mフリーリレー	5位 中国大会出場
男子400mメドレーリレー	5位 中国大会出場
男子800mフリーリレー	4位 中国大会出場
川原 大和(2-7) 50m自由形	8位 中国大会出場
梶川竜之介(1-5) 100m自由形	7位 中国大会出場
影井 仁(2-3) 200m自由形	4位 中国大会出場
	5位 中国大会出場
中宇地竜登(2-3) 200m自由形	7位 中国大会出場
山根 一麒(1-4) 1500m自由形	3位 中国大会出場
	6位 中国大会出場
谷岡 征哉(1-4) 1500m自由形	4位 中国大会出場
益田龍之介(3-6) 100m背泳ぎ	2位 中国大会出場
	1位 中国大会出場
尾崎 樹生(2-5) 200m背泳ぎ	5位 中国大会出場
西尾 健(1-6) 200m背泳ぎ	6位 中国大会出場
加藤 永修(2-5) 100m平泳ぎ	6位 中国大会出場
	4位 中国大会出場
草刈 優真(1-1) 400m自由形	4位 中国大会出場
	2位 中国大会出場
山口 蓮(3-1) 200mバタフライ	4位 中国大会出場
伊藤 孝佐(1-4) 100m背泳ぎ	4位 中国大会出場
	8位 中国大会出場
澤 幸太郎(2-5) 100mバタフライ	7位 中国大会出場
	5位 中国大会出場

### 水泳部

女子団体総合成績	3位
女子400mフリーリレー	5位 中国大会出場
女子400mメドレーリレー	5位 中国大会出場
女子800mフリーリレー	5位 中国大会出場
谷口 真凜(3-3) 50m自由形	2位 中国大会出場
	100m自由形 2位 中国大会出場
稲田明日美(1-3) 200m自由形	7位 中国大会出場
	400m自由形 6位 中国大会出場
小谷 優奈(1-1) 400m自由形	5位 中国大会出場
	800m自由形 2位 中国大会出場
浦木 美帆(1-4) 100m背泳ぎ	2位 中国大会出場
	200m背泳ぎ 3位 中国大会出場
石井 風葵(1-6) 100m平泳ぎ	3位 中国大会出場
	200m平泳ぎ 3位 中国大会出場
山元 綾乃(3-4) 100m平泳ぎ	5位 中国大会出場
雁長のののか(2-7) 800m自由形	3位 中国大会出場
	100mバタフライ 5位 中国大会出場



### Message 水泳部の皆さんへ

コロナ禍と部員数の減少に伴い、自身が描いていたような練習や試合が出来なかった日々。今夏、高校生最後の総体を迎えます。目標を達成するため、部活以外にも努力してきた成果が大輪となって花開くことを願っています。指導していただいた先生をはじめ、先輩・友人など多くの方に励まされたことを忘れず、感謝の気持ちで最後まで頑張れ! (保護者 谷口雅美智)







### Message バレーボール部男子の皆さんへ

高校から始めたバレーボール。日々の練習と苦勞した勉強との両立。部長としての責任等、大変な事も多かったと思いますが、真面目に部活に取り組む姿を見てきました。支えてくださった顧問をはじめ皆さんに感謝の気持ちで一杯です。切磋琢磨した最高の仲間と共に最後の大会で流した涙は、かけがえのない瞬間できっと素晴らしい宝物になるはずです。本当に3年間お疲れ様でした。(保護者)

バレーボール部

### Message バレーボール部女子の皆さんへ

「バレー部に入る!!」と目を輝かせ帰宅した日を思い出します。朝早くから頑張ってきたバレーボール。きっとそれぞれが色々な思いをし、時に笑い涙した日もあったことでしょう。苦難を乗り越え努力した経験は、必ず自分の成長に繋がります。しっかり前向き、自信を持って一歩一歩自分で決めた目標に向かって頑張ってください。皆さんのご活躍を心より応援しています。(保護者)

鳥取県高等学校総合体育大会バレーボール競技

・男子 1回戦敗退 ・女子 2回戦進出



剣道部

### Message 剣道部の皆さんへ

小学生から続けている剣道。今まで色々な指導者やたくさんの仲間を支えられてきました。そして現在も尊敬している先生や素晴らしい仲間にも恵まれて稽古ができる環境にあります。その環境に感謝しつつ懸命に稽古に励めば必ずと結果もついてくるはず。悔いのない高校生活を過ごしてほしいです。頑張れ!!(保護者 西村洋介)

鳥取県高等学校総合体育大会剣道競技

・男子個人 西村 孝介(1-3) 1回戦敗退  
・女子個人 井上 満愛(1-3) 1回戦敗退

### 放送部

第69回NHK杯全国放送コンテスト  
鳥取県東部地区大会

・朗読部門 矢原 ゆら(3-3)

県大会出場

・アナウンス部門 林 春那(3-7)

県大会出場

第69回NHK杯全国放送コンテスト鳥取県大会

・アナウンス部門 林 春那(3-7) 優秀賞 全国大会出場



### Message 放送部の皆さんへ

誰の誘いがなくとも入学早々入部を決めた放送部、行事がある度にコツコツと発声練習、大会の為に取材をさせて頂くと土日でも出かけ、動画編集作業が終わらないと夜遅くまで頑張った日、全ての活動が大きく成長できる経験となりました。ご指導のおかげでコロナ禍でも全国大会の体験もさせていただきました先生方、支えてくださった部員の皆様に感謝致します。(保護者)

演劇部



### Message 演劇部の皆さんへ

演劇部のみなさん、コロナ禍でたくさんの制約があるなか日々の活動本当にお疲れ様です。娘より、「演劇部に入部した」と報告を受けた時は、大変驚きました。発表会で初めて作品を鑑賞した時、脚本が、演者や裏方のみなさんの手によって、鮮やかに舞台化され一丸となって成功へと導いていく喜びや苦しみを目の当たりにし、とても感動しました。みなさんの培った経験がこれからの人生の財産となりますよう、応援しています。(保護者)

### 英語部



### Message 家庭部の皆さんへ

家庭部は、3年5名2年4名1年8名の小規模な構成ですが、週に1回程度集まり、顧問の岡森先生ご指導のもと、料理やお菓子作り、手芸などに楽しく取り組んでいるようで嬉しく思います。コロナ禍で活動し難い部分もあると思いますが、これからも仲良く活動してもらえたらと思います。美味しいお菓子、可愛い作品。楽しもう家庭部♪(保護者 大竹倫子)



### 家庭部





## 吹奏楽部



鳥取県高等学校総合音楽会

- ・独唱部門 児島 佑亮(3-4) 最優秀賞 **全国大会出場**
- ・管打楽器部門 前田 虹太(2-4) 優秀賞
- ・ピアノ部門 伊藤 秀(2-2) 優秀賞

## 邦楽部



鳥取県高等学校総合音楽会

- ・日本音楽の部 優秀賞 **近畿高総文祭出場**

### Message 邦楽部の皆さんへ

コロナ禍の中で入学し、個人の技術を磨くこともままならない日々でしたが、部員同志の絆を深め、音を紡ぎ合い充実した時間を過ごしていただこうと感じられました。皆さんの奏でる音色が多くの人の心を癒してくれると思います。最後の一言まで大切に楽しんでください。顧問の先生、外部の先生、サポートして下さった皆様、ありがとうございました。(保護者 谷田朋子)

## 将棋同好会



第46回全国高等学校総合文化祭将棋部門鳥取県予選

- ・団体 2位 **近畿高総文祭出場**  
伊藤 侑平(2-5)・田原 志桜(2-4)・津田 陽斗(2-6)
- ・個人 春井 翔太(1-6) 5位 **近畿高総文祭出場**



## 書道部

第16回全国高校生大作書道展

山本 志歩(2-7) 大作優秀賞 全国4位相当

# 卒業生からのメッセージ

5・6月に教育実習生として来られたお二人からメッセージをいただきました！！

筑波大学 理工学群 数学類 4年 山田 恭平さん



この度は、母校である東高で教育実習を受け入れていただいた先生方には大変感謝しております。また、東高の皆さんと一緒に充実した学校生活を送れたことは私の人生において非常に貴重な経験となりました。ありがとうございました！

私は、大学では理工学群数学類に所属していますが、私自身高校の頃から数学が苦手でした。苦手な数学を学ぶところへ進学した理由は、小さい頃から教員になりたかった上、自分が数学は分からないと思っていたからこそ分からないと思っている生徒の目線で伝えられる教員になりたいと考えたからです。苦手な数学を大学でさらに学ぶことは大変ですが、将来の夢のために努力することで成長を感じています。

さて、皆さんは将来の夢はありますか？現時点で将来の夢が定まっている人もいれば、そうでない人もいます。特に、定まっていない人は、YouTubeや本など何でも、様々なことに関わることを心掛けてください。そうすることで、何をすることが好きで興味を持っているかが分かり、少しでも将来の夢を考える参考になると思います。私は、努力に対する報酬は成功ではなく成長だと考えています。そのため皆さんも将来に向かって、貴重な高校時代に部活や勉強など様々なことで努力をして成長して欲しいです。

最後になりましたが、高校生活は今後の人生でも大切な時間になると思います。楽しんで何事も充実させた高校生活を送ってください。応援しています！



大阪体育大学 体育学部 スポーツ教育学科 4年 山本 真さん

みなさん、こんにちは。まず、この度は教育実習を受け入れてくださり本当にありがとうございました。多くのことを学ぶことができ、とても楽しく充実した3週間でした。

私は大学で保健体育の教員となること、そして水泳のコーチ資格を取得することを目指して勉強しています。大学では自分の夢や目標に向かって授業を自分で選択します。高校までとは違い、戸惑う部分や大変なことも多いですが、自分の目標に向かって学べることはとても楽しいです。

また、大学では一人暮らしをする人も多くなります。そして今よりも自由な時間も増えるため大学生活はとても楽しい時間を過ごすことができます。同級生や先輩・後輩、部活の仲間など色々な人と色々な思い出を作ることできます。

みなさんは今、勉強や部活動に追われとても大変だと思います。私も高校生の頃は全然両立できず、勉強が疎かになってしまうことが多かったです。それを後悔したこともあります。ですが、みなさんは悔いが残らないよう自分の目標に向かって努力してってください。

大学生活に負けなくらい高校生活も本当に楽しいことばかりです。一生に一度の高校生活を思いっきり友達や先輩・後輩、先生方と楽しんでください。

みなさんのご活躍を卒業生の1人としても、とても楽しみにしています。





# 進路部から保護者の皆さまへ



進路部長

矢部 敦子

## 2022年度の進路状況の概要(表1・2参照)

まず昨年度の進路状況について、その概要をお伝えします。

進学については、鳥取大学の45名をはじめとする国公立大学164名(前年度207名)、私立大学445名(同352名)、短期大学15名(同23名)、専修学校等44名(同58名)という合格者数でした。難関国立大学については、名古屋大学1名、大阪大学1名、神戸大学1名、九州大学1名の計4名でした。今年度は、共通テストの平均点がかなり下がり、本校も苦戦を強いられました。上位者も得点が伸びず、難関大に挑戦できなかった生徒も多かったです。全体としては最後まで5(6)教科に取り組んだ生徒が多く、最後まで諦めることなく粘り強く受験に向かうことができました。国公立大学の合格者数も総数は昨年度より減少しましたが、現役生だけで言えば合格者数が卒業者数の5割を超え、健闘したと言えます。

私立大学の合格者数も増加しましたが、近年続いていた私立大学の合格者の絞り込みが落ち着いてきた印象を受けます。しかしながら、特に都市圏の私立大学を中心に依然として合格が難しく、生徒が行きたい大学へ合格するためには確かな学力が必要であることには変わりありません。

短期大学合格者のうち7名が地元の鳥取短大。その他は近畿圏(三重含む)と中国圏の短大です。そして、専修学校・各種学校については、看護・医療系への進学が大半です。

就職者は4人で、全員が公務員でした。内訳は、国家公務員1名、特別職国家公務員(一般曹候補生)1名、東部広域消防2名です。日々の授業への取り組みを大切にしながら、意欲的に公務員用の問題や適性検査の練習に早くから取りかかった成果だと思います。

表2.主な大学合格者内訳

国公立大学(164名)					
埼玉大	1	鳥取大	45	九州大	1
横浜国立大	1	島根大	16	九州工大	1
金沢大	2	岡山大	5	国際教養大	1
信州大	1	広島大	6	大阪公立大	1
静岡大	2	山口大	4	兵庫県立大	1
名古屋大	1	徳島大	1	公立鳥取環境大	23
京都教育大	1	鳴門教育大	1	島根県立大	6
大阪大	1	香川大	3	その他の国公立大学	28
神戸大	1	愛媛大	5		
奈良女子大	1	高知大	4		
私立大学(445名)					
慶応大	1	同志社大	2	関西学院大	5
日本大	3	立命館大	8	甲南大	5
明治大	2	龍谷大	53	鳥取看護大	5
立教大	4	関西大	4	その他の私立大学	282
京都産業大	30	近畿大	41		

## 今年度の進路部担当教職員

今年度、進路を担当する教職員をお知らせいたします。何かお尋ねになりたいことがありましたら、ご連絡をいただければと思います。

- 第1学年……菅生 涼子(1年6組担任)、栗原 崇(1年7組担任)
- 第2学年……富林 紀之(2年4組担任)、大西 真理(2年7組担任)
- 第3学年……中村 貴子(3年2組担任)、山口 優介(3年4組担任)
- 進路部専任……矢部 敦子(進路部長・3年担当)、村上 諒(2年担当)
- 村岡 歩(1年担当)、山本 公彦(就職)、圓井 恵子(庶務)

## 進路実現に向けた夏季休業期間の過ごし方

例年、約90~95%の生徒が4年制大学を志望しており、そしてその大半が国公立大学を志望しているの、大学進学に向けた話をします。1年生はまだはっきりとした志望先を決めていない生徒が多いですが、夏季休業明けからは普通科文系・理系と理数科の3コースでのコース・科目選択が待っており、夏季休業期間を利用して進路について十分に検討する必要があります。その際、今の成績で決めるのではなく、何をどこで学びたいのか、将来はどのような人生を歩みたいのかなど、子どもの目指すべき方向をしっかりと見極めることが大切です。そのとき保護者にできることは、「我が子に適切な進路とは何なのか」ということを、今まで育ててきた中で感じる我が子の適正を踏まえつつ、人生の先輩という立場から子どもと一緒に考えることだと思います。それは2・3年生も同様です。単なる大学名や偏差値での進路選択ではなく、大学でどんなことを学びたいのか、大学でどんなことが学べるのかを知ることが重要です。それが見えるほど目標が明確になり、勉強に向かう気持ちは強くなります。大学調べはオンラインでのオープンキャンパスや夢ナビなどが有効です。実際に大学を見たり体験したりする機会は減りましたが、オンライン等での機会を活用してください。知らなかった世界や気づかなかった能力の発見に繋がるかもしれません。また、1年生から新しい学習指導要領に変わったため、入試科目も2・3年生が受験するものとは変わる部分があります。夏季休業での大学調べを皮切りに、徐々に提示される各大学の入試情報にも注目していただきたいと思います。

2年生は、よりしっかりと具体的に志望校について考え、科目選択をしていかないとはいけません。安易な科目選択は進路選択の幅を狭くし、合格可能性を低くしてしまいます。そして、早期に苦手科目の克服に全力を注ぐべきです。苦手科目の克服は後になればなるほど難しくなります。

3年生は、もう脇目も振らず一心不乱に勉強あるのみです。夏季休業のまとまった時間をどう使うかで、その後の学校生活や成績が大きく変わってきます。2学期以降に成績が伸びる生徒は、夏季休業に「〇〇の分野をここで完全に復習する」といったように具体的に目標を決め、丁寧に取り組むことができた生徒です。そういった生徒は夏季休業明けの校内外模試で成績が上昇し始め、ここできっかけをつかむと後は順調に成績を伸ばしていくことができます。このまとまった期間に今まで曖昧だった知識を確実な知識に変え、基礎を徹底できれば2学期以降飛躍できます。3年生の夏季休業は成績を伸ばせる最後のチャンスと言ってもよいです。

夏季休業は、このように大きく変わるチャンスです。本気で取り組み、大きく変わることができます。諦めることなく、本気でやれるかどうかです。子どもがどのようなことに興味・関心があるのか、将来どのような職業に就きたいのか、適性はどのようなのかなど、冷静に親子でじっくりと話をさせていただく機会にさせていただけたらと思います。そして、必死に最後まで頑張る我が子を、陰ながら支える親であっていただきたいと思います。子どもより先に音を上げるようなことがないよう見守っていただければと思います。





## 何事も楽しんで

一年保護者 市村 智子

「ある！番号ある！」やったなあ！よく頑張った！合格発表の日、体育館で受験番号を確認して、親子で嬉し涙を流しました。この春に東高を卒業した長女が「東高祭は楽しいし、進路の相談もできるし、行ったら絶対高校生活が楽しいと思うな」とよく言っていました。でも進学先を決め、頑張るのは次女本人。よく考えて決めた進路調査票には(第一希望 東高)と書いてあり、受験勉強生活が始まりました。我が家は長女次女ともに受験生で、コロナ禍ということもあり例年以上に体調管理に気を遣いながらの冬は長く感じました。そうして迎えたこの春、受験を終え、ホッとするのも束の間、また新たな勉強の日々ですが、忙しくも楽しそうに新生活を送る娘の姿を見て、私自身も毎日を丁寧に過ごしながら娘をしつかりと見守っていきたくと、改めて思いました。毎日が今しかできないことで、苦も楽も良い経験と思いつつ、前向きな気持ちで部活に勉強に励み、仲間とともに充実した高校生活を送ってほしいと思います。

## 頼る頼られる

一年保護者 村田 淑恵・周祐

合格発表まで、とても不安で苦しかったです。その苦しさを口にしつつも、それでも、友だちと励ま

し合い、毎日黙々と机に向かっていた姿が目に見えています。幾度となく、代わってあげられればと心を痛くしたことが忘れられません。そんなあなたを、私たちは誇りに思うと同時に、あなたの親であることに感謝しています。そしてなによりも、私たち以外に心の頼りとなる存在を創り出したあなたを頼もしく思い、正直少しさみしくもありました。

試験の時を超えた現在、あなたは、休む暇もなく、部活・遊び・学業に忙しい毎日をおくりはじめました。その目に映る世界は、もう私たちの知らない世界に富んでいるのでしょ

う。キラキラと見えるであろう、その世界は、これまで以上に広く美しく、そして荒々しいことだと思えます。だからこそ、もっと多くの頼り

先となる存在を創り出して豊かな高校生活を紡ぎ上げてください。そしてできるなら、あなたも誰かの頼り先になってください。そう、あなたならなれるから。そのとき、もしも心に余裕があるなら、私たちのことも忘れずにいてくれるとうれしいなあ。愛する我が子へ。あなたを愛する両親より。

## 巡る時代

一年保護者 石井 洋

今春、長女が東高を卒業し、次女が入学しました。

私は東高卒業後、地元の大学に進学就職で大阪に。県外へ就職をした時から、もう鳥取に帰ることは無いなと思っていました。紆余曲折あり、私は単身赴任、娘達は鳥取での生活をするようになりました。自分が卒業した母校に娘二人がお世話になっていることに感謝すると共に不思議な縁を感じます。

時を戻します。私が東高入学後、最初の授業の時、担任である数学の先生が言った言葉「数学は飯のタネ、君達が将来困らないようにしつかり

勉強してください」と仰った言葉を覚えていてます。その言葉を守れたかどうか分かりませんが、人並みに就職もでき、二人の娘を東高に行かせることができました。

受験を控えた三年時、また担任は数学の先生でした。授業後、参考書の問題を添削していただいたり、ご自宅に泊まり込みで勉強合宿をして頂いたりと、大変お世話になり、今でも、よく面倒を見てくれた先生だったなと思ひ出します。

一人では乗り越えられない壁も、先生や、部活の仲間、クラスメイトに相談しながら、乗り越えられる力を付けていって欲しいと思いますし、こういうところが東高の風土というかいところなのかなと思います。

将来、娘が大人になった時、自分の子どもたちに語れるような楽しい高校生活を送ってください。

## 東高に入学して

一年保護者

中学一年の時から、目指すは東高と息子には言っていました。息子もその思いで、勉強していたと思います。合格発表の時は、親子共々ドキドキが止まりませんでした。が、無事合格する事が出来て、本当に良かったです。慣れないバスに乗って、毎日クタクタになって帰ってくる息子を見て、頑張れと心の中で応援をしています。

同じ中学からの友達がクラスにいないこともあり、なかなか馴染めないようですが、ようやく部活の友達が出来たようで、ホッとしています。田舎の中学校だったので、全体の人数も少なく高校で初めて大人数に触れ、戸惑いもあると思いますが良い経験になると思っています。勉強は

もちろんですが、そういった経験をたくさんしてほしいと思います。部活も中学とは違う部活に入りま

す。

中学と高校では、あらゆる事が違うと思います。義務教育ではないので、今まで大人に気にかけてもらっていた事なども、自分の責任でしていかないとけないでしょう。

第一子で、神経質に育て、甘やかしたこともあり、まだまだ子どもですが、高校生それもあこがれの東高生になれた事ですし、いろいろな経験をして、この三年間で大きく成長してほしいものです。

あと、いい友達・仲間を作ってほしいと思います。一人よりは、二人の方が楽しいですからね。

## 新たな一歩

一年保護者

娘が、東高に入学してもうすぐ二カ月が過ぎようとしています。毎日元気に通っている姿を見ると高校生活を満喫しているようで親として嬉しく思います。

常にマイペースで我が道を行く娘に「新しい友達が出来たか」「部活では他の子と上手くやっているか」と心配してくれる幼い頃からの友達がいると聞きびつくりすると同時に、かけがえのない友達を大切にしたい、そして、その友達のように他を気づかい思いやる心を持って欲しいと感じました。また、新たな出会いも大切にしてほしいです。人生を左右する出会いがあるかもしれません。自分の価値観がひっくり返るような出会いが待っているかもしれません。

また、この三年間はぜひ自分の進路についてもしっかりと考えてほしいと思います。高校生活という今始まった「新たな一歩」は次に続く大切な一歩です。高校を卒業するときにまた「新たな一歩」を踏み出せるように。貴重な高校生活を思い切り楽しむと同時に今しかできないことに全

力を取り組み、たくさんの知識、経験を積み自分の世界を広げていってほしいと思います。目標に向かって歩むあなたをいつも応援しています。

## 自分らしく

一年保護者

我が子は音楽や美術に関することが好きです。そしてやってみようと思ったことは真剣に取り組めます。

中学生の時は吹奏楽部の練習、美術の作品、合唱コンクールの歌やピアノ伴奏練習などに対しても熱心でした。東高入学の時はネットで検索し、家から校歌の練習をしていました。その様子をみていて我が子らしいと微笑ましくなりました。

今は部活動を熱心に取り組んでいるようです。きっかけは部活動誘ですが、自分でも楽しそうだと思っ

て入部した演劇部。今まで経験したことのない新たな挑戦で「演じる」というまたひとつ好きなことが増えたようです。

思い起こせば、小学一年生初日の第一声は「たたいま、楽しかった。」でした。そして東高生になった今は「疲れた、でも楽しかった。」とその日にあった出来事を話し「お弁当当りがとう、美味しかった。」と言ってくれます。これらのコトバに親としてホッとさせられ、こちらも頑張ろうという気持ちになります。

将来なりたいものはまだ探しているところですが、好きな事がやりた

い事につながれば良いなとは親としては思っています。勉強の面では心配になる点もありますが、楽しいと思える日々をこれからも送ってほしいと願っています。

鳥取東高通信190号に写真、原稿等で協力いただいたみなさまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。文化広報部一同